



2025年に向け地域包括ケアシステムのさらなる推進

## 地域包括ケアシステムの発展 大田区版地域共生社会に向けて

～ともに支えあい 地域力ではぐくむ  
安心して暮らせるまち～

### 包括的支援体制の構築

#### 複合課題に取り組む個別支援

相談支援機関は、相談者一人ひとりの声を丁寧に聞き取り、課題を整理し、8050問題などの複合課題には関係する複数の相談支援機関が連携して、チームで対応します。  
また、相談者・世帯の暮らし全体を捉え、本人に寄り添い継続的につながり続ける支援を中心に行います。

#### 支援と共生の地域づくり

区民同士が出会う場や居場所の確保に向けた支援を行います。  
地域・生活課題が複雑・多様化する中、専門職の介入・支援により地域の中に交流・参加の機会を生み出すコーディネート機能を確保します。  
そのことにより、ケアしあう関係性を広げ、多様な役割と参加の機会や地域での助け合いを生み出します。

切れ目のない支援

地域力

新たな取組の導入

区  
の  
役  
割

- 第8期計画では、「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります」を基本理念に、2025年に向け地域包括ケアシステムのさらなる推進に取り組みます。
- 区は、地域の複雑・複合化した生活課題を抱える高齢者等に対し寄り添う支援につなげていくため、地域包括支援センターをはじめとする様々な相談支援機関との連携体制と、コーディネーターによる必要な社会資源や公的サービスを組み合わせた地域ネットワークの強靱化を図ります。
- また、地域における生活支援・介護予防においては、参加の輪を高齢者だけでなくその家族や現役世代にも広げ、多様な主体の参画による『互助』が充実した地域づくりに取り組み、地域全体の活性化を図ります。
- さらに、地域包括支援センターとコーディネーターが互いに連携を深めスパイラルアップしていくことにより、包括的支援体制を構築するための2つの柱である「複合課題に取り組む個別支援」と「支援と共生の地域づくり」を推進し、区における福祉分野の上位計画である「大田区地域福祉計画」に定める「大田区版地域共生社会」の実現に向けた取組と連動していきます。
- これらの取組にあたっては、「切れ目のない支援」「地域力」「新たな取組の導入」の3つの視点をふまえ、PDCAサイクルによる事業評価・検証のもとに取組内容を充実・改善していきます。